

「墨堤通り」の歩道拡幅決まる！

一言会では、発足当時から、避難拠点となる「白鬚東防災団地」につながる避難街路「墨堤通り」が、普段でも快適に歩ける道にしようと取り組んできました。

これまでも、「旧墨堤の道整備」や、沿線の開発行為にあたり、「リバーサイド隅田」や「共栄倉庫」での桜並木の復活などの提案が実現されてきました。

しかし、歩道が狭く歩きにくい状態はなかなか改善できませんでした。

このたび都議会の先生から、白鬚橋東詰交差点から向島五丁目にわたる「歩道の3mへの拡幅工事」と「電線地中化工事」を平成24年度から27年度に計画するとの情報が寄せられました。

現在の歩道幅は2mですがそれ以下の幅の所もあり、ガードレールの内側に電柱が立つことなど、自転車とすれ違うときにも危険なところもありました。

墨堤通りは、お正月には隅田川七福神めぐりのコースとして非常に人通りが多く、近年では東京スカイツリーが美しく見える道として脚光を浴びつつあります。タワー完成とともにさらに行楽客が増えることも予測されるこの時期に、「墨堤通り」が江戸市民の行楽の地として賑わったように、快適な道として整備されることを皆様とともに喜びたいと思います。

(なお、歩道の拡幅は車道の幅員を狭くする方法で計画されています。)



↑現在の墨堤通り。自転車もすれ違うのはやっと。

こどもたちといっしょに防災学習 イザ！カエル夜市(ナイトバザール)を開催しました！！

今回も、墨田川高校の生徒さん、PVAの皆さん、町会関係者、墨田区、消防団、東京工業大学のみなさん、朗読の会・話輪和の皆さんが、

これまで一言地区では2回開催してきたこの企画ですが(①一〇年十月三日)、昨年(東日本大震災を受け、災害はいつ起こるか分からないので、寒さや暗さ対策をテーマにして)の時期に開催しました。昨年引き続き、まち中の場所を活用して実施しようと、地蔵坂通りの縁日に合わせて、てらじま広場や墨田川高校の西門前のスペース、消防団の元詰所、一寺小の校庭、体育館で、イザという時に役立つ技を体験できる多彩なプログラムを行いました。



↑新聞紙で紙食器をつくと、暖かいココアのサービスが。お湯は手作りのロケットストーブで暖めています。

含め五〇名を越える多くの方々のご協力も、当日は夜にも拘らず、300名のご参加が、大賑わいとなりました。また、夜だった製もあり、こどもたちだけでなく、お父さんお母さん、おじいさんおばあさんと一緒に参加する方がとても多くいらっしゃいました。こどもたちと一緒に新築に、そして楽しみながら防災について学ぶ姿が、とても印象に残っています。

さん、NPO法人ブラスアーツの皆さんなど、一言会理事を



→合板や段ボール等の廃材を使ったシェルターづくり。

→新聞紙やラップを末端部に巻くと、体もほかに。



→給食での廃油等、身近なものを使ってキャンドルづくり。

三月二十二日には、都内で同様の活動をしている地域団体が一同に介するシンポジウムがアーツ千代田3331(末広町)にて開かれ、お互いの今年度の活動報告と、経験交流をしてきました。また本年も災害への備えに取り組んでいきます。



安心できるまちの手を繋ぎあわせて

防災まちづくり瓦版

発行／一寺言問を防災のまちにする会

平成24年5月1日

[HP]http://hitokotakai.com

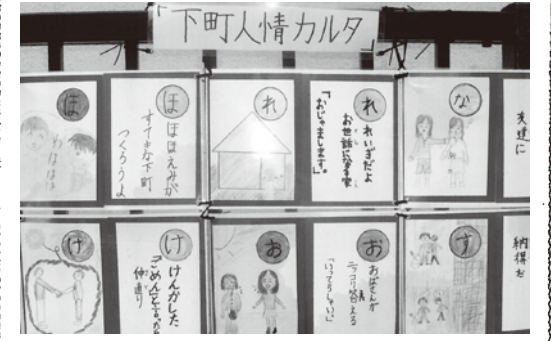
いちてらことい

一寺言問／防災まちづくり瓦版

編集／一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行／一寺言問を防災のまちにする会
代表 青木 隆雄
連絡先／墨田区都市整備部都市整備課
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6261

言問小に下町人情かるた

言問小（山田俊郎校長）西側の、通称三とも通り沿いに、児童が作った「かるた」52組104枚が展示されて人気です。
 “粋”の味の分かる、人情味豊かな子が育っています。



歴史にふれてまちを歩こう

3月31日、三田神社で歴史散策案内板の除幕式が行われました。この案内板は観光まちづくりを目指す向島まちおこしの会が尽力して実現し、14ヶ所に設けられました。ぜひ探してみてください。

鳩の街で古本市賑わう

4月7日鳩の街通りで古本市が開催され、好天气に花見の客もくり出して大賑わい。狭い店先に個性なお店がオープン。遠方からきた客もレトロなまちと「ふるほん日和」を楽しんでいました。



向島有季園利用者さん決定

2月18日の抽選会で、私たち一言会の自慢の活動・向島有季園（向島5の35）の平成24・25年度の利用者さんが決まりました。

今回は11区画の募集に16名の応募があり、近年よりちょっと厳しい倍率となりました。

当選者の町会別内訳は
 向島5西：3名／向島5東：3名
 東向1南：1名／東向1中：2名
 堤通1：1名／東向島3：1名でした。

下町のオアシスとして、しばしばマスコミにも紹介されるかわいい菜園・有季園の新緑は、私たちを創造以上に癒してくれます。

有季園の利用者抽選は、2年に1回行われます。



↑有季園ですくすく成長中の野菜たち

踏地普請モデルプロジェクト進行中

行き止り路地をいざという時に避難路としても活用出来るようにして、防災のまちづくりを進めようという取組み「路地普請プロジェクト」が現実的に動き始めています。



東向島1丁目某所において、昨年より、行き止り路地沿いにお住まいの皆さんと、路地の清掃活動や、地域としての防災・減災に繋がる改善についての懇談会（通称「スロジーン」）を開催してきています。その成果として、行き止りの先から避難もできる路地へ変身！！



難でできる通路が確保されたり、長年空家で、既に崩れかけていた老朽家屋の解体がなされたりと、具体的な成果があがっています。路地奥に光が入り、風が通り抜け、有事の際の安全性はもちろん、日常の快適性も改善されました。密集している住宅地の老朽空家による防災・防犯問題はこれからはますます進行していくでしょう。一言会としても、地域防災の観点から取り組んでいきます。

私がまちづくりスタッフです。

その47
松本 正毅さん
 （向島5丁目在住）



昭和33年島根県生まれ。京都工芸繊維大学を卒業。大阪の樹脂会社に就職、商品開発室に勤務するが転勤で東京へやってくる。

平成2年に墨田区に引越し、プロダクトデザイン会社を設立する。相棒の眞理子さん（イラストレーター）と結婚する。向島5丁目、墨田川に近いマンションの一室で第2の人生をスタートさせた。



当時一言会では路地尊が次々と整備されて、雨水利用は身近なものになっていた。松本さんは雨水貯水装置「レインソーター」を考案して、自ら雨を溜めて屋上緑化を実践した。次第にデザイナーとして周知される様になり、

実績も出来て異業種交流グループや産官学連携クラブなどで活躍している。そんな松本さんの最近のお仕事を紹介します。

◎「てくてくスケール」まち歩きの時、自分の場所からスカイツリーまでの距離が分かるグッズで、TASKものづくり大賞の奨励賞を受賞する。◎すみだ製、電動自転車「HOKUSAI III」のデザイン◎すみだ環境ふれあい館のリニューアルなど。



4月某日（聞き手 高）

- 一言地区内のマンション計画との協議
- ☆4月13日理事会
「東向島1丁目ビル」(東向島1)
 S、施主事業型賃貸マンション
 Y、近隣マンションとの日照問題について
 - ☆5月25日理事会
「岡嶋ビル」(東向島3)
 S、施主居住型賃貸ワンルームマンション
 Y、法泉寺参道に適した意匠・修景をお願いしたい。
 - ☆5月25日理事会
「小田マンション」(向島5)
 S、施主居住型賃貸ワンルームマンション
 Y、小学校の通学路に留意していただきたい。
 - ☆6月28日理事会
「堤通1丁目マンション」(堤通1)
 S、ファミリー向け分譲マンション
 Y、墨堤の桜並木を意識した意匠・修景をお願いしたい。
 Y、私道幅で抜け道の確保をお願いしたい。
 Y、水害発生時に近隣住民の避難を考慮してもらいたい。
 - ☆9月15日理事会
「住友不動産曳舟計画」(東向島1)
 S、ファミリー向け分譲マンション
 Y、水戸街道拡張後も緑地面積を確保していただきたい。
 Y、水戸街道への抜け道を確保してもらいたい。
 Y、隣接公園で行われる納涼大会について周知してもらいたい。
- ※「一言会」には、墨田区認定のまちづくり団体として、一定規模以上の集合住宅に対して、まちの将来に好ましい計画となるよう要望を行う仕事があります。
 Yは要望事項、Sは種別